

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	IVB 期子宮頸癌に対する化学療法・骨盤部放射線治療の多施設共同調査研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆
研究責任者 (個人情報管理者)	産婦人科・助教・宇佐美 知香
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2024 年 3 月 31 日
対象	子宮頸癌 IVB 期で、2016 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日までの 5 年間に愛媛大学医学部附属病院で標準的な化学療法または化学放射線療法を受けられた患者さん
利用する試料・情報等	利用するカルテ情報 ・治療前情報（年齢、進行期、合併症など） ・化学療法および放射線治療内容（使用薬剤・回数、放射線線量など） ・治療後情報（生存の有無、再発の有無、再発部位など）
研究の概要	遠隔転移を有する IVB 期子宮頸癌に対しては抗がん剤を用いた化学療法が標準治療とされており、放射線治療は痛みや出血などの症状緩和目的の利用が標準的となっています。近年、海外では化学療法に骨盤部放射線治療を加えることでの治療成績向上が報告され始めています。今回、本邦でのデータを収集し、骨盤部放射線治療の意義を検討することを目的に、調査研究を計画しました。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は

	学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院産婦人科 宇佐美知香 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5379

【共同研究について】

当院は婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）参加施設で、全国の婦人科悪性腫瘍臨床研究を全国の婦人科腫瘍の先生とともにこの研究を実施しています。

対象となる患者さんのデータの提供は、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、パスワード付きの Excel シートを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で神奈川県立がんセンター放射線治療科に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	神奈川県立がんセンター放射線治療科 土田圭祐
既存試料・情報の提供のみを行う機関	JGOG（特定非営利法人・婦人科悪性腫瘍研究機構；Japanese Gynecologic Oncology Group）および JROSG（特定非営利法人・日本放射線腫瘍学研究機構；Japanese Radiation Oncology Study Group）婦人科腫瘍委員会参加施設 JGOG URL : https://jgog.gr.jp/institution/institution_map.html JROSG URL : https://jrosg.jp/